

2021年6月14日

三井化学株式会社

三井化学元常務小川伸二氏が高分子科学功績賞を受賞

当社在籍時の業績と高分子学会への貢献が評価

三井化学株式会社（東京都港区：代表取締役社長 橋本 修）は、今般、当社元常務執行役員小川伸二氏が公益社団法人高分子学会（以下、高分子学会）より2020年度 高分子科学功績賞を受賞したことをご報告致します。

高分子科学功績賞は、高分子基礎科学および応用科学の発展のために、多年にわたって顕著な業績を挙げた会員を対象に、その功績に報いるとともに、高分子科学の普及啓発に資し、その水準の向上に寄与することを目的に制定されたものです。今回の受賞は、小川氏の当社在籍時の業績である ①機能性ポリオレフィンの工業化、②ポリ乳酸の重合技術開発、さらに、高分子学会代表理事・副会長としての貢献が高く評価されたことによるものです。なお、業績の機能性ポリオレフィンの工業化によって開発された製品群は、現在の当社成長領域であるモビリティ事業や、フード＆パッケージング事業の中核となっています。

小川氏の受賞は、当社にとっても大変名誉であり、当社はこれからも当該分野への貢献を続けて参ります。



小川 伸二氏



◆受賞者コメント

今回の高分子科学功績賞の受賞の根拠となる業績は、事業、研究、生産はじめ各部門の多くの方々から先達からの継承を受け協同して開発・工業化に尽力されたものです。本受賞は、当社の取り組みが評価され、その中で一員として機会に恵まれた巡り合わせによるもので、幸運なことです。すべての皆様に心から感謝しております。

◆当社在籍時の主なご経歴

本受賞に関する、ポリ乳酸、超臨界流体の化学反応への応用のほか、非常に先導的な技術開発に対して陣頭指揮をとられ、特にポリ乳酸の開発では、開発初期からセミコマーシャルプラント構築を意識した生産技術開発をリードされました。

RC・品質保証関連では、安全性評価の社内評価体制の深耕にも注力され、最新の反応発熱量測定機の導入や社内体制を確立されました。又、安全環境技術面でも安全工学チームの立上げなど保安技術深耕に関する体制整備を推進されました。生産技術研究所ご在籍中には、スケールアップデータを迅速かつ的確に取得するためのエンジニアリング・ベンチ試験装置の導入を進められ、当該研究所の重要機能の強化に貢献されました。

さらに、産学官の連携も重要視され、特に先導研究では大学、産総研他と当社との様々な共同研究の推進、国プロへの参画を押し進められました。

その後2020年7月に当社を退職され、その学識から現在国立大学法人大阪大学招聘教授を務められています。

■表彰の概要

表彰名	高分子科学功績賞
業績名	機能性ポリオレフィンの工業化への貢献及びポリ乳酸の重合技術開発
受賞者	小川 伸二 氏（元三井化学 常務執行役員）
業績	① 機能性ポリオレフィンの工業化 ② ポリ乳酸の重合技術開発、さらに、高分子学会代表理事・副会長としての学会へのご貢献

【高分子科学功績賞】 <https://main.spsj.or.jp/c15/c15.php>

以上

<本件に関するお問い合わせ先> 三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL 03-6253-2100